

**製品名: DGK- $\iota$  ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab09953**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 $-20^{\circ}\text{C}$ で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	160kDa

**抗原情報**

遺伝子名	DGKI
別名	DGKI; Diacylglycerol kinase $\iota$ ; DAG kinase $\iota$ ; Diglyceride kinase $\iota$ ; DGK- $\iota$
遺伝子 ID	9162.0
SwissProt ID	O75912
免疫原	抗血清はヒト DGKI 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 991-1040

**背景**

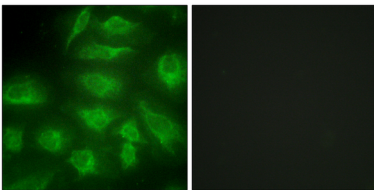
この遺伝子は、IV型ジアシルグリセロールキナーゼサブファミリーに属します。ジアシルグリセロールキナーゼは、ジアシルグリセロールのリン酸化を介して細胞内濃度を調節し、ホスファチジン酸を生成します。この遺伝子によってコードされる酵素の具体的な

役割は未解明ですが、網膜におけるホスファチジン酸の産生、あるいは劣性遺伝性の網膜変性において重要な役割を果たす可能性があります。 [RefSeq 提供、2008年7月],触媒活性:ATP + 1,2-ジアシルグリセロール = ADP + 1,2-ジアシル-sn-グリセロール 3-リン酸。 ,類似性:真核生物ジアシルグリセロールキナーゼファミリーに属します。 ,類似性:1つの DAGKc ドメインを含みます。 ,類似性:2つの ANK リピートを含みます。 ,類似性:2つのホルボールエステル/DAG 型ジンクフィンガーを含みます。 ,

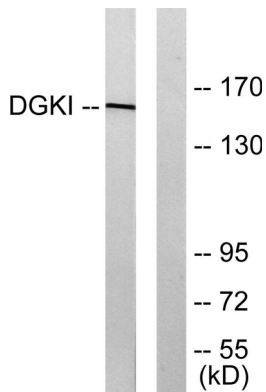
## 研究分野

グリセロ脂質代謝;グリセロリン脂質代謝;ホスファチジルイノシトールシグナル伝達系;

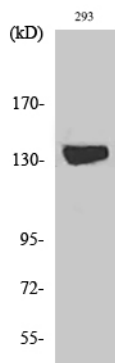
## 画像データ



DGKI 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



DGKI 抗体を用いた 293 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 1000 に希釈した DGK- $\iota$  ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析